

日本旅行作家協会(JTWO)無料公開セミナー

『船旅の魅力を探る』

船旅をしたいけど、なんとなく船酔いなどが心配で空の旅を続けていた方々に、世界の船旅の魅力を紹介する無料公開セミナーです。国内クルーズから世界各地のオーシャンクルーズやリバークルーズ、船舶の特徴と違い、クルーズ中のさまざまな事柄を基調講演とパネルディスカッションで紹介し、いろいろなご質問にもお答えします。会員の皆様ほか、旅好きな方々をお誘いの上、お気軽にご参加下さい。セミナー終了後、パネリストやJTWOメンバーと参加の皆様との懇親パーティを開きます。

開催要項

日時： 2018年4月8日(日) 14:15~16:45 (開場 14:00)

会場： 文京シビックセンター26階 スカイホール(文京区春日1-16-21 TEL 03-5803-1100)

アクセス： 東京メトロ丸の内線、南北線「後樂園駅」都営地下鉄三田線、大江戸線「春日駅」直結
JR中央・総武線「水道橋駅」下車徒歩10分

<http://www.city.bunkyo.lg.jp/shisetsu/civiccenter/civic.html>

受講料： 無料(但し、懇親パーティ参加者は参加費¥2,500)

定員： 80名

締切り： 2018年3月24日(土) 申込先着順で定員超えの場合は、該当者にお断りの連絡をします。

主催： 日本旅行作家協会旅行情報研究会・クルーズ&トラベル研究会

協賛： (現在2社に協賛依頼中)

懇親パーティ： どなたでも、お気軽に参加いただける、旅を肴にした立食パーティです。参加ご希望の方は、セミナー参加登録に『懇親パーティ参加』と記載し、会費を事前に振込して下さい。

また、振込領収書は当日必ず持参して下さい。

※お振込された懇親パーティ参加費は、懇親パーティ中止の場合以外は、返金いたしません。但し、懇親パーティ参加者の交代は、事前にご連絡いただければ可能です。

申込み： 日本旅行作家協会「JTWO セミナー係」へ、『参加申込書』と表示し、氏名(フリガナ)、住所または所属企業名、日中の連絡先電話番号、懇親パーティ参加の場合は『懇親パーティ参加』と明示し、下記のアドレスかFAXへ送信するか、事務局内の下記宛にハガキでお申し込み下さい。

メールアドレス：jtworyokoujyoho@gmail.com

FAX番号：03-3538-2346

ハガキ宛先：〒104-0061 東京都中央区銀座1-5-5 明興ビル4F

日本旅行作家協会「JTWO セミナー係」宛

懇親パーティ参加費： 振込先銀行口座：三井住友銀行白山支店(228)

普通預金口座 1137520 口座名：旅行情報研究会

申込み者名の後に「JTWO2018」を追記して¥2,500をお振込み下さい。

懇親パーティ当日は、振込領収書を懇親パーティ会場でご提示下さい。

プログラム

- 14:00 受付開始
- 14:15～15:00 開会
- 第一部 基調講演
- 『ピースボート世界一周ツアー2017 北半球乗船報告』
スライドショーと解説
- 講師：高梨洋一郎（環境省エコツーリズム推進アドバイザー）
- 15:00～15:15 質疑応答
- 15:15～15:30 休憩
- 15:30～16:30 第二部 パネルディスカッション
- 「クルーズの魅力、準備、トラブルとその対処方法」
- パネリスト 高梨洋一郎（同上）
種村国夫（漫画家・エッセイスト）
片山邦夫（旅行ジャーナリスト）
種村実穂（トラベルライター）
黒田尚嗣（旅行会社テーマ旅行部門顧問）
- コーディネーター 鈴木一吉（トラベルコーディネーター・ライター）
- 開催プロデューサー 山田恒一郎（観光振興コンサルタント）
- 16:30～16:50 参加者とパネラーの質疑応答（予定）
- 16:55 閉会（懇親会参加者への会場説明）
- 17:10～18:30 懇親パーティ（どなたでも軽装で参加いただけます）
会場はシビックスカイレストラン椿山荘カメラリアルーム
（シビックセンター25階）
- 登壇者 SPEAKERS パネリストとコーディネーター、開催プロデューサーなどのプロフィールは別紙をご覧ください。

登壇者と開催プロデューサーのプロフィール

高梨 洋一郎（たかなし よういちろう）

早稲田大学政経学部政治科卒。「トラベルジャーナル」編集長などを経て、1994年ツーリズムワールドを設立、海外旅行関係のオンラインマガジンの発行や旅行業向けのマーケティング活動を展開する。1998年日本エコツーリズム協会の設立に参画、初代事務局長として協会の基盤づくりに取り組む（現在、同協会理事）。立教大学観光学部非常勤講師、サイバー大学世界遺産学部教授などを歴任。2017年8月「第95回ピースボート世界一周クルーズ」に乗船。著書は「建国の舞台・米国バージニア」「宝探しから持続可能な地域づくり」他。現在、環境省エコツーリズム推進アドバイザー、日本旅行作家協会顧問理事。（旅行情報研究会世話人）

種村 国夫（たねむら くにお）

日本漫画学校（近藤日出造校長）卒。いすゞ自動車（設計部）を経て、漫画家、イラストレーターとして独立。有名作家の小説の挿絵を数多く担当するほか、週刊文春のコラム「淑女の雑誌から」のカットを35年間に渡って手掛け、雑誌「島へ」にイラスト旅日記を連載する。1995年頃からクルーズ船に乗り始め、「飛鳥」「にっぽん丸」「ばしふいっくびいなす」の3船で教室や講演を担当する。年に5回以上の展覧会を開催し、クルーズ船で巡った世界の港を描く「世界の100名港」をライフワークとしている。シップ・オブ・ザ・イヤー選考委員、ツアーグランプリ選考委員、クルーズ・オブ・ザ・イヤー選考委員、日本旅行作家協会常任理事、漫画集団事業部長。

片山邦夫（かたやま くにお）

千葉大学理学部数学科卒。日本航空（株）勤務を経て、玉川大学経営学部観光経営学科非常勤講師として「ホスピタリティ産業人的資源管理論」「クルーズ論」「地域振興論」などを担当。クルーズ船の、乗船歴16回。現在、おかやま観光特使、NPO多文化共生支援センター理事、日本旅行作家協会常任理事。（クルーズ&トラベル研究会）

種村 実穂 (たねむら みほ)

國學院大學文学部史学科卒。西洋占星術とギリシャ神話の研究を続ける。新聞、雑誌に数多くの連載を持つ。1995年頃から夫・種村国夫と共にクルーズ船に乗り、クルーズ船の旅の写真を撮り始める。日本のクルーズ船3船の他、外国籍の乗船を含め、クルーズ船体験回数は60回を超える。クルーズ船で巡った先で撮った写真の展覧会を開催し、フォトエッセイストとしても活動している。著書に「ギリシャ神話入門」「夢占い・夢判断入門」他。日本旅行作家協会理事。(クルーズ&トラベル研究会世話人)

黒田尚嗣 (くろだ なおつぐ)

慶應義塾大学経済学部卒。三重県伊賀市の松尾芭蕉の生家の向いに生まれ、幼い頃から旅に関心を持つ。近畿日本ツーリスト、添乗員派遣会社・ホライズンインターナショナル(専務取締役)勤務を経て、現在、クラブツーリズム(株)テーマ旅行部門顧問。また、旅の文化研究所研究員を務める。クラブツーリズム主催の「旅の文化カレッジ」で“旅する世界遺産・日本遺産の語り部”として各種講座を担当。ツアーの企画にも参画し、専任講師としてツアーに同行している。著書に「旅行業務取扱主任者への道」他。日本旅行作家協会会員。

鈴木 一吉 (すずき かずよし)

中央大学法学部法律学科卒。医学の総合出版社勤務時代に休暇を使い、海外旅行ガイドブックや雑誌の取材執筆、LOOK JTBなどの海外旅行ツアーの添乗などで世界約120ヶ国を訪ねる。また、旅行専門学校非常勤講師として業界人の育成に携わる。最近では高齢者の旅行医学、アグリツーリズムに関心を持ちながら、海外旅行をコーディネート。著書に「旅行業務取扱管理者になるには」「ドイツの郷愁ロマンチック街道へようこそ」「ブルーガイドパシフィカ・タイ」「ANAシティガイド・タイ」(共著)など多数。日本旅行作家協会会員(旅行情報研会)

山田恒一郎 (やまだ こういちろう)

京都大学工学部土木工学科卒。旧運輸省勤務を経て、2004年からパリに在住。観光振興コンサルタントとして現在に至る。主に欧州観光記事を週刊「サンデー毎日」、月刊「旅行読売」、月刊「潮」等に連載。日本旅行作家協会会員。(旅行情報研究会)

